

【建築・電気科 建築コース】 縄張り・水盛り・遣方 実習

令和3年4月16日（金）、建築・電気科3年生〔建築コース〕の生徒が実習の授業で縄張り・水盛り・遣方を行いました。実際の基礎工事でも行われる作業に生徒達は真剣に取り組みました。



縄張りとは

土地などに縄を張って境界を定め、自他を区別したり、特別の区域（結界）を明らかにすることです。

水盛りとは

測量作業において基準となる水平面を定めたり、高低差を測る水準測量をすることです。

遣方(やりかた)とは

土木建築工事において、設計図に示された切取り、盛り土、石積み、構造物などの位置、高さ、形状を現場で表示するために設置する標識のことです。